

心理職 平成29年8月29日実施
集団討論の課題

内閣府が実施した調査によると、何か社会のために役立ちたいと思っている人は65.4%、社会のニーズや課題に対して市民の自主的な取り組みが大切だと思っている人は91.6%、ボランティア活動に関心がある人は59.6%となっています。

しかしながら、過去3年間のボランティア活動経験がある人は23.3%と、ボランティア活動への意識と実際の行動にはかい離があります。

これらの意識と行動にかい離が生じる要因及びボランティア活動への参加者を増やすためにはどのような方策が考えられるか、グループとしての意見をまとめてください。